

県立大和高等学校 令和6年度 第3回 学校運営協議会議事録

日時 令和7年3月13日(木) 14:30～16:30

会場 本校会議室

出席者 【委員】

林 忠(神奈川工科大学 キャリア就職課 公務員対策室長 元本校校長

高橋 歩(大和市教育委員会主任指導主事)

片山 政明(本校同窓会長)

尾崎 憲介(本校PTA会長)

佐藤 伸之(本校前PTA会長)

石井 富佐子(本校校長)

【本校職員】

川島 秀生(本校副校長)、久永 靖子(本校教頭)

吉永 直裕、高橋 敦子、萩原 拓己、稲積 清司、品部 信寛、本郷 真由美

(以上、本校総括教諭)

第3回学校運営協議会成立の確認

1. 会長あいさつ

尾崎 憲介会長 挨拶

2. 校長あいさつ

校長挨拶

3. 学校評価部会

(1) 生徒による授業評価について

- ・11月に実施された生徒による授業評価ではいくつかの項目(「単元の学習の中で、課題について自分の考えをまとめたり、解決方法について考える場面がある」「与えられた課題・宿題以外にも、日頃から自ら学習課題を見出し主体的に取り組むことができた」)で、7月実施の結果よりも肯定的な回答に割合が上昇した。授業力向上の取組の成果である。
- ・生徒による授業評価をもとに、各教科で次年度に向けての方策等を提案した。

(2) 魅力と特色づくりについてのアンケート

- ・生徒と保護者による魅力と特色づくりについてのアンケート調査を実施した。
アンケート項目のほとんどが肯定的な評価となった。

(3) 学校評価報告書について

① 学事部

- ・公開研究授業について、従来は授業と並行して実施していたが、本年度は研究授業のみを実施して、他の教諭が授業を見学して議論する機会をもうけた。県から教科の指導主事に来ていただき評価を

いた

だいた。来年度に繋げたい。

②生徒会部

- ・部活動の活性化を図るために、活動の新方針をたて、ホームページにて内容の周知と共有によって、生徒・保護者・職員間の共通認識のもと活動を実施している。
- ・年間休養日は最低限は確保した。
- ・生徒の部活動アンケートは、昨年とほぼ変わらない結果となっている。
- ・施設の老朽化が課題となっている。
- ・専門顧問不足が課題である。来年度にグラウンド整備予定があり、練習場所、引率者確保の課題もある。

③生活保健部

- ・教育相談・支援に関しては、サポートドックにより面談を実施した。
- ・SSW・SCが、生徒のさまざまな悩みに対応している。
- ・日常的な指導を越えた指導が5件(スマホSNS関連3件)あったが、指導によって本人は深く反省している。
- ・人間関係による不調に関する指導件数が何件かあるが、いずれもいじめ認知には至っていない。小・中学校と高校でいじめ認知に関しての差がある。
- ・支援体制の効率化の検討が必要である。
- ・さまざまな職員研修を実施している。
- ・自転車通学者のヘルメット装着率が低い。

④進路部

- ・職員研修を実施し、模擬試験実施後、業者を呼び分析報告会を行っている。各教科の課題を認識してもらっている。進路指導にもつなげる。
- ・他県での取り組みを紹介してもらっている。

⑤広報部

- ・学校説明会を2回実施したが、1500人の申込みあった。例年はキャンセルが多いが本年はキャンセルが少なく会場がいっぱいになった。本校学校説明会に対する関心が高い。さまざまなリソースと協力しながら効率よく発信していく必要がある。

⑥副校長

- ・教員の働き方改革により、会計業務など教員の業務の一部を業務アシスタントに移行した。
- ・来年度から業務の内容を精査し、学校運営組織を改編していきたい。

⑦管理部

- ・清掃指導指導方法の改善を行った。
- ・地域清掃を教員主導から美化委員主導とした。
- ・地域連携に関して、地域清掃を野球部、サッカー一部が継続的に行っている。神奈川県教育委員会より表彰されることになった。
- ・施設点検方法の変更を行った。
- ・教室整備は、保護者と協力しペンキ塗りを行った。
- ・喫食訓練をおこなった。

- ・自習室を設置した。
- ・図書展示会を行い、生徒に選ばれた本を積極的に購入している。
- ・(課題)教員、生徒一人ひとりが美化意識を高める(育てる)必要がある。

【意見】

- (意見) ・県内の高校で生活指導案件が増えているという話を聞いた。個々の事例について丁寧な指導をお願いしたい。また、生徒対応について、教員側のスキルアップを望む。
- ・進路指導については、第一志望実現を目指した丁寧な指導を実施してほしい。
- (意見) ・公開研究授業の方法を変えたのはとてもよかった。特に授業後の研究協議の時間は大切である。
- ・校内の環境整備に力を入れているのはとてもよい。
- (意見) ・友人を作ることにより、学力向上、部活動の活性化、生徒会活動の充実などが図れると思う。学習環境においても大事である。
- ・部活動の補助を望む。
- ・社会への貢献、自分で考える能力を身に付けることが大事である。
- ・地域との繋がりを活かし、充実した協力体制ができるとよい。
- ・非常時での心構えを整えることが大切である。
- (意見) ・生徒主体の学校行事の実現とPTAの支援ができればよいと思う。
- ・世間の変化に対応した学校での教育も実施してほしい。
- ・生徒とPTAとの意見交換の場をもうけて生徒の要望にPTAが応えられるようにしてほしい。
- ・自転車の安全な通学ができるように何かできるのではないかな。
- ・災害時の対応についての指導をお願いしたい。
- ・アレルギー(エピペン)への学校の対応がどうなっているか知りたい。
- (意見) ・生成AIの活用について学校ではどう考えているのか。
- ・生徒による学校評価の結果と、教職員の感覚と一致しているか。
- ・学習意欲の向上について具体的にどうしていくのか。
- ・人間関係について悩んでいる生徒が1年生ということが気になる。
- ・いろいろな調査結果が他の学校と比較してどうなのかを知りたい。
- ・生徒とPTA、生徒と同窓会としての接点をもうけたい。
- ・自転車のヘルメットの装着率を上げるにはどうすべきか。
- ・教職員の職場環境の改善をお願いしたい。
- (回答) ・生成AIの活用については、英語科で教育センターから指導者を招き研修を行った。全て生成AIに任せるのではなく、まずは自分で考え、それを生成AIに判断してもらうという使い方をしている。今後も検討が必要である。
- (回答) ・生徒による授業評価と職員の感覚については、人によってとらえ方が違う。評価に基づいて教科で不足している内容について改善を目指している。
- (回答) ・他校との比較では、SCやSSWの相談件数は極端に少ない。

4. キャリア部会

(1) 令和6年度進路実績等について

- ・国公立大学発表あり、東京大学に現役で18年ぶりに合格した。東京科学大学に3名、北海道大学に1名（既卒）、東北大学に2名（うち1名は既卒）合格している。
- ・3年生の4月に第一志望宣言を書かせた。国公立大の結果は、第一志望宣言の志望者数と相関がある。
- ・高校3年間を通して満遍なく学び共通テストに活かした。
- ・早慶が国公立大学の受け皿的存在になっている。
- ・本校進路部は、「満遍なく学びましょう」「幅広く学べば選択が広がる」と指導している。

(意見) ・第一志望合格率について、来年度以降方針を変えることはあるのか。

(回答) ・「第1志望宣言」の定義をいつにするのが難しい。第1志望は変わり得る。

(意見) ・共通テストに「情報」が入ったが、本校の生徒に影響はあったか。

(回答) ・全く影響はない。新制度が導入される初年度の教科・科目はたいてい易しい。

5. 地域連携部会

(1) 令和6年度地域連携実績について

- ・12月花火打ち上げは盛況だった。つきみ野中グラウンドから盛大な花火が見れた。

【意見】

(意見) ・地域の小学校とも交流をしていただきたい。

(回答) ・予算がつけば、もの作り教室等でできればよい。構想はあるので、実現できれば紹介したい

(意見) ・サッカー、野球部以外は特に交流ないのか。近隣を対象とした交流なのか。

(回答) ・一番近い中学校と部活動での交流をしている。

- ・近隣ではないが、中学校との交流している部活動はある。

- ・地域連携は、この地域に限っている。

- ・つきみ野中、線路に近いので花火の打ち上げができない。

- ・グラウンド改修により次年度は花火の打ち上げはできない。

6. その他

次年度学校運営協議会については、改めて連絡する。